



# オーストリアの教会音楽

～バロック音楽からロマン派へ 啓蒙主義の足跡～

## ORATIO CLUB

合唱団オラシヨクラブ 第3回演奏会

❖ *Ave Maria* Johann Joseph Fux  
ヨハン・ヨーゼフ・フックス  
KV151 アヴェ マリア KV151

❖ *Nikolaimesse* Joseph Haydn  
ヨーゼフ・ハイドン  
Hob. XXII:6 ニコライミサ Hob. XXII:6

❖ *Orgelsolomesse* Wolfgang Amadeus Mozart  
ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト  
KV 259 オルガンソロミサ KV259

❖ *Stabat Mater* Franz Peter Schubert  
フランツ・ペーター・シューベルト  
D 383 悲しみの聖母 D383

指揮 奥村泰憲

モーツァルト、ハイドン/ソプラノ 長尾良子 アルト 高橋幸恵 テノール 堀越尊雅 バス 石井基幾  
シューベルト/ソプラノ 金成佳枝 テノール 沼田臣矢 バス 淡野太郎

演奏 オラシヨアンサンブル

第1ヴァイオリン 原田陽 第2ヴァイオリン 廣川智 ヴィオラ 西村葉子 チェロ 塚本慈和  
コントラバス 信友裕子 オルガン 野村牧子

合唱 合唱団オラシヨクラブ

# 2017年7月7日 (金)

## カトリック東京カテドラル関口教会 聖マリア大聖堂

開場18:30 開演19:00

入場料2,500円

本演奏会の入場料の一部を、  
公益財団法人みらいサポート石巻  
(<http://ishinomaki-support.com/>)  
に寄付させていただきます。

\*交通のご案内\*

【電車】東京外有楽町線・「江戸川橋駅」(出口1a)徒歩15分  
【バス】「JR山手線目白駅」より都営バス白61系統「新宿駅西口行き」  
「JR山手線新宿駅」より都営バス白61系統「練馬車庫行き」  
\*どちらも「ホテル椿山荘東京前」下車徒歩1分

お問合せ:合唱団オラシヨクラブ  
TEL. 080-3490-9026  
連絡先 oratioclub@gmail.com  
<http://oratioclub.jp/>  
未就学児の入場はご遠慮申し上げます。

後援:オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム/日奥文化協会



合唱団オラシヨクラブは2014年に誕生以来、ハイドン、モーツァルト、シューベルトの作品を中心に研鑽を重ねて参りました。今回はそれらに加え、シュタイアーマルク州のグラーツ出身でバロック作曲家フックスの作品を取り上げます。フックスは対位法の大家であり、その作品はルネッサンス様式にも思える書法です。バロック作品からロマン派シューベルトまで、つまり日本においては江戸時代の前期から後期の変遷を、演奏法の観点や人々の死生観の観点から描くことができたかと思っております。先日鑑賞した演劇で知ったことなのですが、“稽古”とは古事記にでてくる言葉で、古(いにしえ)を稽(かんがえ)ることなのだそうです。現代に生きる私たちが先人の声に耳を傾ける時間から何を稽(かんがえ)るのか。“古”に対して“新”を稽(かんがえ)ることに繋げていけたらと願ひ、音楽の都の響きを通して探求を続けていけたらと思っております。

## プロフィール

### 指揮 奥村泰憲

4歳よりヴァイオリンを始める。広島少年合唱隊出身。エリザベト音楽大学宗教音楽学科卒業、同大学院修了。2005年よりウィーン国立音楽大学(声楽)、プライナー音楽院(指揮・オペラ)で研鑽を積む。2009年ウィーンでシュッツ「十字架上の七つの言葉」、バッハ「ルターミサ」を指揮しデビュー。オーストリアを中心に音楽祭の副指揮、合唱指導など多岐にわたり活動。2012年帰国後は宗教曲の他、歌劇「天空の町」「フィガロの結婚」を指揮。合唱団オラシヨクラブ、東京バロックスコラーズ、MBC室内合唱団、合唱団玄、日本聖公会聖アンデレ教会聖歌隊指導者。

### アルト(ハイドン、モーツァルト)高橋幸恵

国立音楽大学大学院ドイツ歌曲コース修了、同博士後期課程単位取得満期退学。在学中、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科に交換留学生として学ぶ。サイトウキネン・フェスティバル松本「若い人のための室内楽勉強会」にて白井光子氏のマスタークラスを受講。第1回国際シューベルト歌曲コンクールin Steyr(Austria)第2位、第14回大阪国際コンクールデュオ部門第2位、第19回友愛ドイツ歌曲コンクール入選・聴衆賞受賞。ノヌラマクタラ室内楽団、Affetti mvsicali、ヴォーカル・コンソート東京各メンバー、東京室内歌劇場会員。

### バス(ハイドン、モーツァルト)石井基幾

神奈川県出身。県立大和高等学校卒業。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会賞受賞。オペラでは「フィガロの結婚」タイトルロール、母校の大和高校50周年記念式典にて神奈川県フィルハーモニー管弦楽団との共演、コンサートでは「第九」、フォーレ「レクイエム」のソリストをつとめる。現在、サントリーホール オペラ・アカデミー プリマヴェーラ・コース第3期生。東京藝術大学大学院音楽研究科(修士課程)声楽専攻在籍。これまでに声楽を柳澤涼子、福島明也の各氏に師事。

### テノール(シューベルト)沼田臣矢

岩手県出身。岩手大学教育学部芸術文化課程音楽コースを経て東京藝術大学音楽学部声楽科を卒業。同大学大学院古楽科バロック声楽専攻に在学中。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、川上洋司、野々下由香里の各氏に、指揮を田中良和に師事。これまでにJ.S.バッハ「マタイ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」「ミサ曲短調」「ミサ曲長調」や教会カンタータ、G.F.ヘンデル「メサイア」などのソリストを務める。ノヌラマクタラ室内楽団代表。ヴォーカル・コンソート東京、モーツァルト・アカデミー・トウキョウ各メンバー。

### ソプラノ(ハイドン、モーツァルト)長尾良子

東京藝術大学音楽学部声楽科独唱専攻卒業。ソリストとしてはバッハ「ヨハネ受難曲」東京フィルハーモニー以降、マーラー「交響曲第4番」、ヴィヴァルディ「グローリア」、フォーレ「レクイエム」等で演奏。ドイツ歌曲では東京藝術大学文化講座「愛をめぐるドイツの歌」全曲主演。アンサンブルのメンバーとしては舞台、放送、録音多数。音楽教育では在学中より宝塚歌劇団生の指導、各種学校、専門学校を経て現在片柳学園講師。演奏ボランティア活動としては公益財団法人がん研究会有明病院に登録。音楽教室としては杉並区にてRHINOSKINDERを主宰。日本演奏連盟会員。

### テノール(ハイドン、モーツァルト)堀越尊雅

福島県会津若松市出身。国立音楽大学卒業。久保田真澄、佐藤淳一、吉田浩之、高橋祐二の各氏に師事。J.S.バッハのカンタータや、モーツァルト「戴冠ミサ」、ジル「死者のためのミサ」等のソリストを務める。日本橋オペラにおける「トスカ」スポレッタをはじめ、近年はオペラ公演にも多数出演。日本合唱協会、レゾナンツ・カペレ、Affetti mvsicali、ヴォーカル・コンソート東京 各メンバー。第24回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。

### ソプラノ(シューベルト)金成佳枝

岩手大学、東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同声会賞受賞。現在、同大学院音楽研究科前期博士課程声楽科に在学中。第26回大曲新人音楽祭コンクール奨励賞、第28回国際古楽コンクール、第27回日本ドイツ歌曲コンクール入賞。J.S.Bachのカンタータ、「ロ短調ミサ」、モーツァルト「Requiem」、フォーレ「Requiem」、グノー「聖セシリア荘厳ミサ」等の宗教音楽のソリストを務める。Salicus Kammerchor、モーツァルト・アカデミー・トウキョウ、ヴォーカル・コンソート東京、ノヌラマクタラ室内楽団メンバー。モーツァルト記念合唱団指導アシスタント。東京藝術大学バッハカンタータクラブ団員。盛岡バッハカンタータフェライン会員。

### バス(シューベルト)淡野太郎

東京都立芸術高校を経て東京藝術大学卒業。この間、声楽を岡崎實俊、佐々木正利、嶺貞子、リコーダーを守安功、濱田芳通の諸氏に師事。1997年以降度々渡欧し、声楽及び歌曲解釈等をA.ギーベル、C.モラーヌ、Z.ファンダステーネ、H.Ch.ポルスターの諸氏に師事。2003~04年ヘアフォールのヴェストファーレン教会音楽大学にて声楽、リコーダー、合唱指揮を重点的に学ぶ。2004~06年ライブサイト・ゲヴァントハウス室内合唱団メンバー。現在は合唱や管弦楽の指揮の他、ソロやアンサンブルの歌い手、リコーダーやドゥルツィアン奏者としても活動。

## オラシヨアンサンブル

第1 ヴァイオリン 原田陽  
チェロ 塚本慈和

第2 ヴァイオリン 廣川智  
コントラバス 信友裕子

ヴィオラ 西村葉子  
オルガン 野村牧子

## 合唱団オラシヨクラブ

2014年6月結成。ハイドン、モーツァルト、シューベルトを中心としたオーストリアの教会音楽をレパートリーを中心にしており、第1回演奏会をカトリック高円寺教会で、第2回はウィーンから招聘したアンドレアス・ピクスナー氏の指揮により、麹町聖イグナチオ教会で行った。また有志によるウィーンイエズス会教会のミサへの参加(2015年1月、次回は2018年1月に参加予定)、カトリック世田谷教会でのクリスマスコンサート、カトリック洗足教会でのミサでの奉唱、ウィーンから来日中のイレナ・クルステスカ氏をゲストに招いてのカトリック渋谷教会でのチャリティーコンサート、長崎県の平戸ザビエル記念聖堂での有志による演奏会など精力的に活動。2016年からはモーツァルトパースデーコンサート室内合唱団と共にモーツァルトの誕生日を祝う演奏会に出演、「ハ短調ミサ」、「ドミニクスミサ」に引き続き、2018年は「ミサソレムニス」を演奏予定。音楽を通しての心身の健康づくり、被災地支援、国際交流の3つを柱に、毎週金曜日カトリック世田谷教会での練習を中心に、指揮奥村泰憲氏、伴奏を野村牧子氏の指導のもと活動をしている。